

# 西日本旅客鉄道株式会社〔証券コード9021〕 会社説明会資料



2017年2月28日  
西日本旅客鉄道株式会社




次の一歩へ。  
地域と共に。

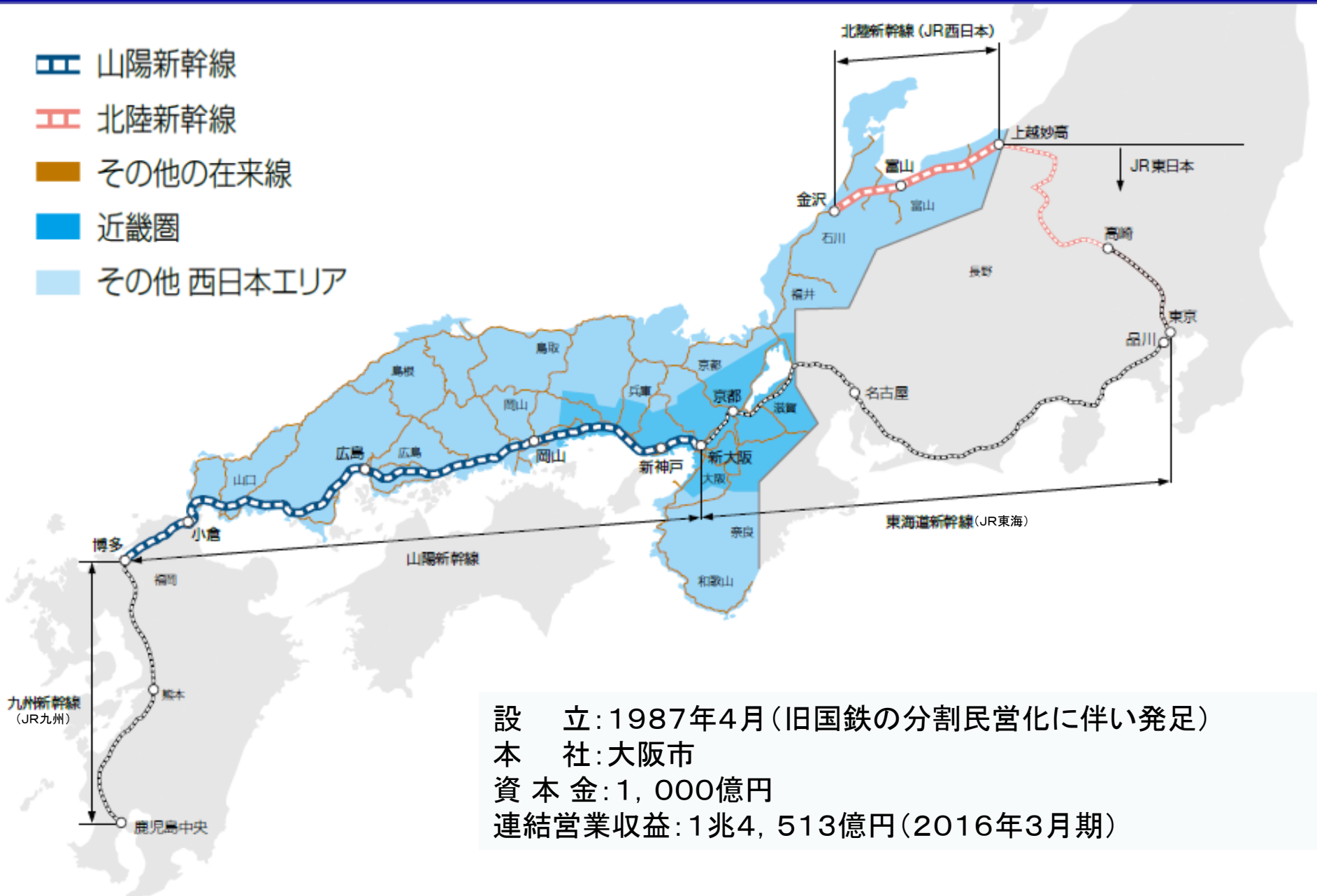
## I. 経営概況

## II. 株主還元・優待制度

## III. JR西日本グループ の各事業の取り組み

# 1. 当社概要(営業エリア)

-  山陽新幹線
-  北陸新幹線
-  その他の在来線
-  近畿圏
-  その他 西日本エリア



設立: 1987年4月(旧国鉄の分割民営化に伴い発足)  
本社: 大阪市  
資本金: 1,000億円  
連結営業収益: 1兆4,513億円(2016年3月期)

## 2. 主な事業と収益構造(2016年3月期)

### 営業収益の中心は運輸業

不動産業 7%



ショッピングセンター



販売・賃貸

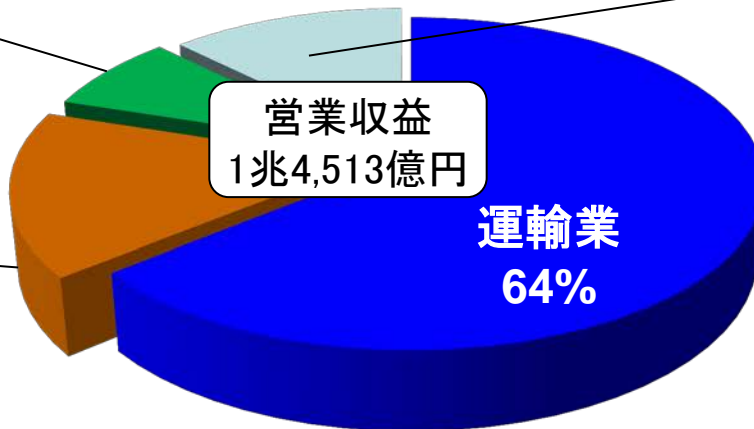
流通業 16%



物販・飲食



百貨店



その他 13%



ホテル業



旅行業

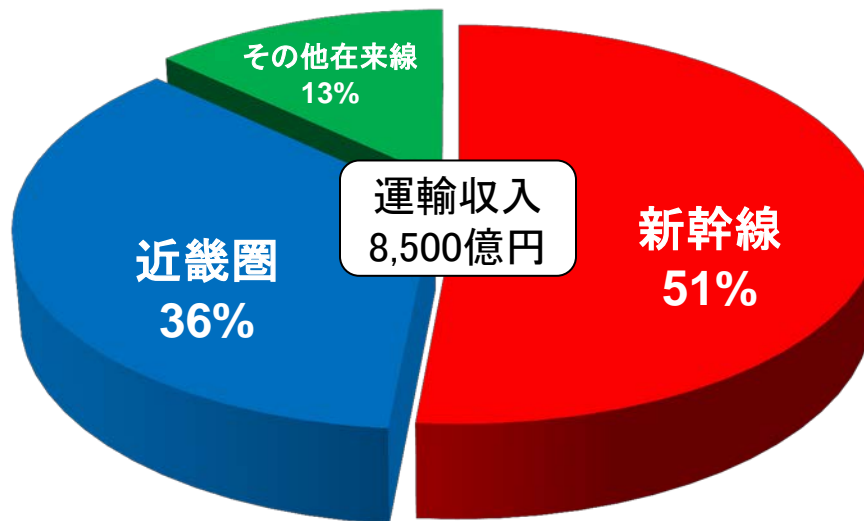
### 新幹線が最大の収益源



特急「サンダーバード」



225系新快速



東海道・山陽新幹線「のぞみ」



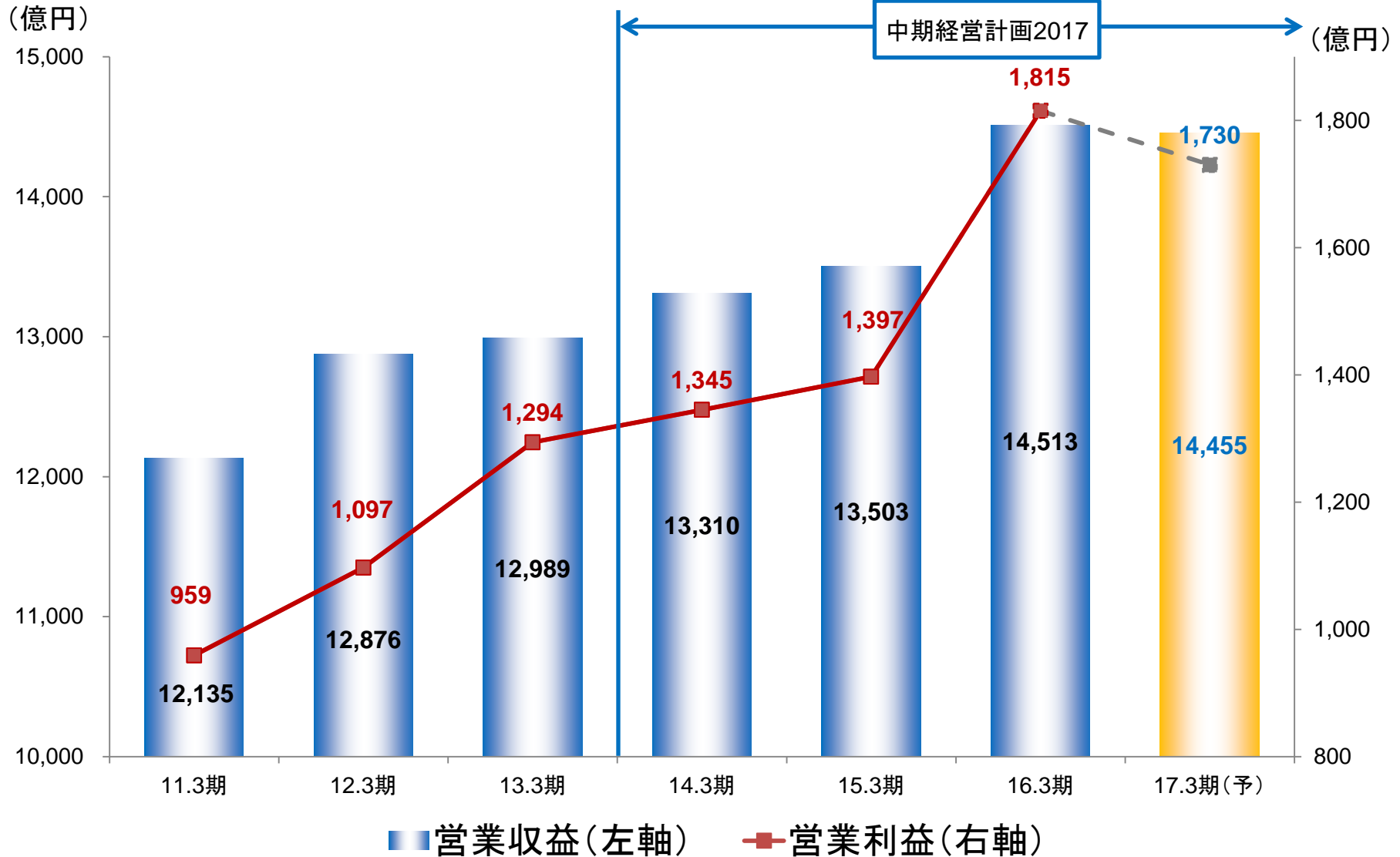
山陽・九州新幹線「みずほ」



北陸新幹線「かがやき」

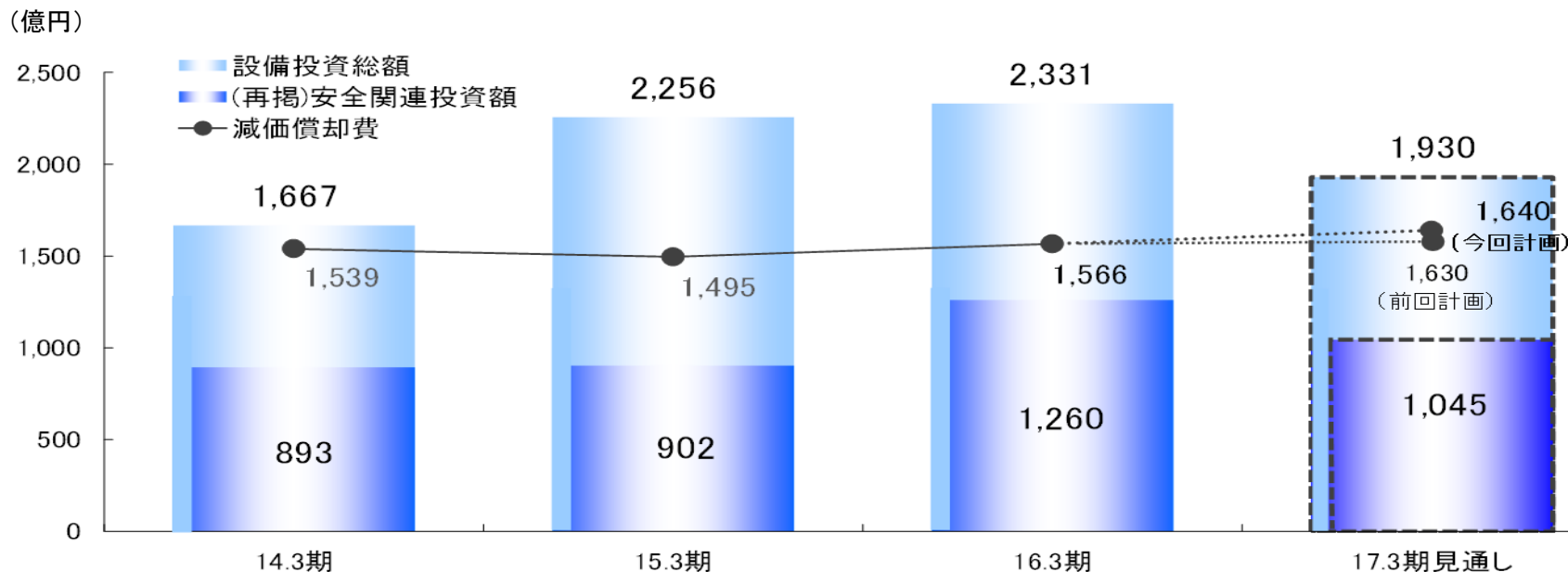
### 3. 連結営業収益・利益の推移

過去6期の連結営業収益、営業利益の推移と今期の予定



# 4. 設備投資

## 中期経営計画期間(2014年3月期-2018年3月期) 設備投資推移



### 中期経営計画期間 設備投資総額

(単位:億円)	中計アップデート (2015年4月時点)
<b>連結</b>	<b>9,600</b>
成長投資	2,600
事業の継続的運営に必要な投資	7,000
安全関連投資	4,800
<b>単体</b>	<b>8,200</b>

### 2017年3月期の主な設備投資案件

#### ○ 成長投資

- ・ 新駅設置工事  
- うめきた地下新駅 等
- ・ シームレス化  
- ICOCAエリア拡大
- ・ 生活関連サービス事業拡大  
- セブン-イレブン提携店舗への転換  
- 「吹田グリーンプレイス」開発 等

#### ○ 事業の継続的運営に必要な投資

- ▼ 安全関連投資
  - ・ 車両取替・改造  
- 山陽新幹線N700A  
- 近畿圏(大阪環状線・阪和線)
  - ・ 保安・防災対策、地上設備取替  
- 地震・津波対策  
- 山陽新幹線ATCシステム全面更新  
- 在来線新保安システム
- ▼ その他 CS向上、バリアフリー 等

# 5. 安全性向上に向けた取り組み

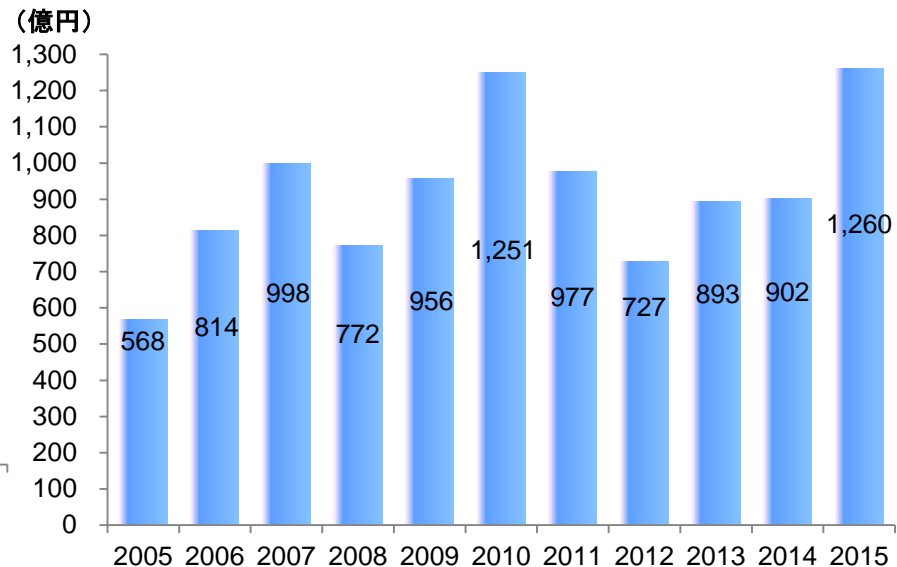
## 鉄道運転事故件数※の推移

安全性向上の取り組みにより、事故件数は減少傾向



※鉄道運転事故：省令に定められた事故で、列車事故・踏切障害事故・鉄道人身障害事故・鉄道物損事故の合計

## 安全関連設備投資の推移



## 安全考動計画2017

### ○2017(H29)年度までの5年間を通じた目標

- ・お客様が死傷する列車事故 ゼロ
- ・死亡に至る鉄道労災 ゼロ

### ○2017(H29)年度の到達目標

- ・ホームにおける鉄道人身障害事故 3割減
- ・踏切障害事故 4割減
- ・部内原因による輸送障害 5割減

### ○具体的取組内容

- ・安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力
- ・リスクアセスメントのレベルアップ
- ・安全意識の向上と人命最優先の考動
- ・安全投資



次の一歩へ。  
地域と共に。

I. 経営概況

II. 株主還元・優待制度

III. JR西日本グループ  
の各事業の取り組み



# 6. 株主還元

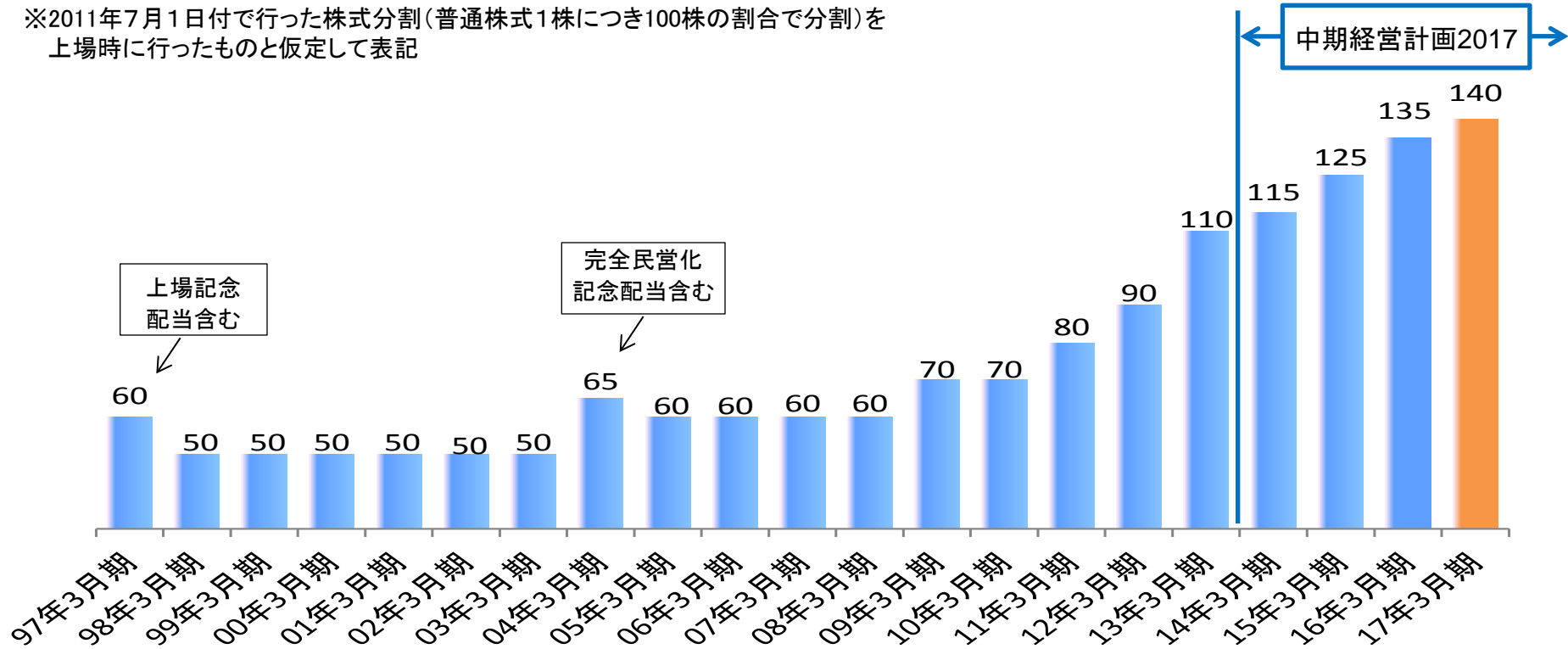
## 株主還元方針

- 長期安定的な株主還元を重視する観点から、引き続き、自己資本を勘案した株主還元を実施。
- 具体的には、本計画の達成状況を踏まえ、  
**2018年3月期に、連結ベースでの「自己資本総還元率(※)」3%程度を目指す。**

※自己資本総還元率(%) = (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 連結自己資本 × 100

## 上場以来の1株当たり年間配当額の推移 (単位/円)

※2011年7月1日付で行った株式分割(普通株式1株につき100株の割合で分割)を上場時に行ったものと仮定して表記



7期連続増配(予想含む)、最終年度の自己資本総還元率3%達成に向けて着実に還元充実

# 7. 株主様にご理解を深めていただく施策 (優待・見学会等)

## 株主様向け施設見学会

- 株主様限定の施設見学会を定期的に開催 (年2回程度)



北陸新幹線施設 (開業前) 見学会



博多総合車両所見学会

## 株主総会

- 会場内展示で施策を紹介



北陸新幹線グランクラスシートやパネル展示等

## 株主優待制度

- 片道お一人様の運賃・料金が **50%割引** の **鉄道優待割引券**


- ・3月末の株主様に発行 (年1回)
- ・**当社株式を長期保有している株主様には発行枚数を追加**
- 対象: 1単元でも継続して3年以上保有し、さらに3月末時点で3単元 (300株) 以上保有

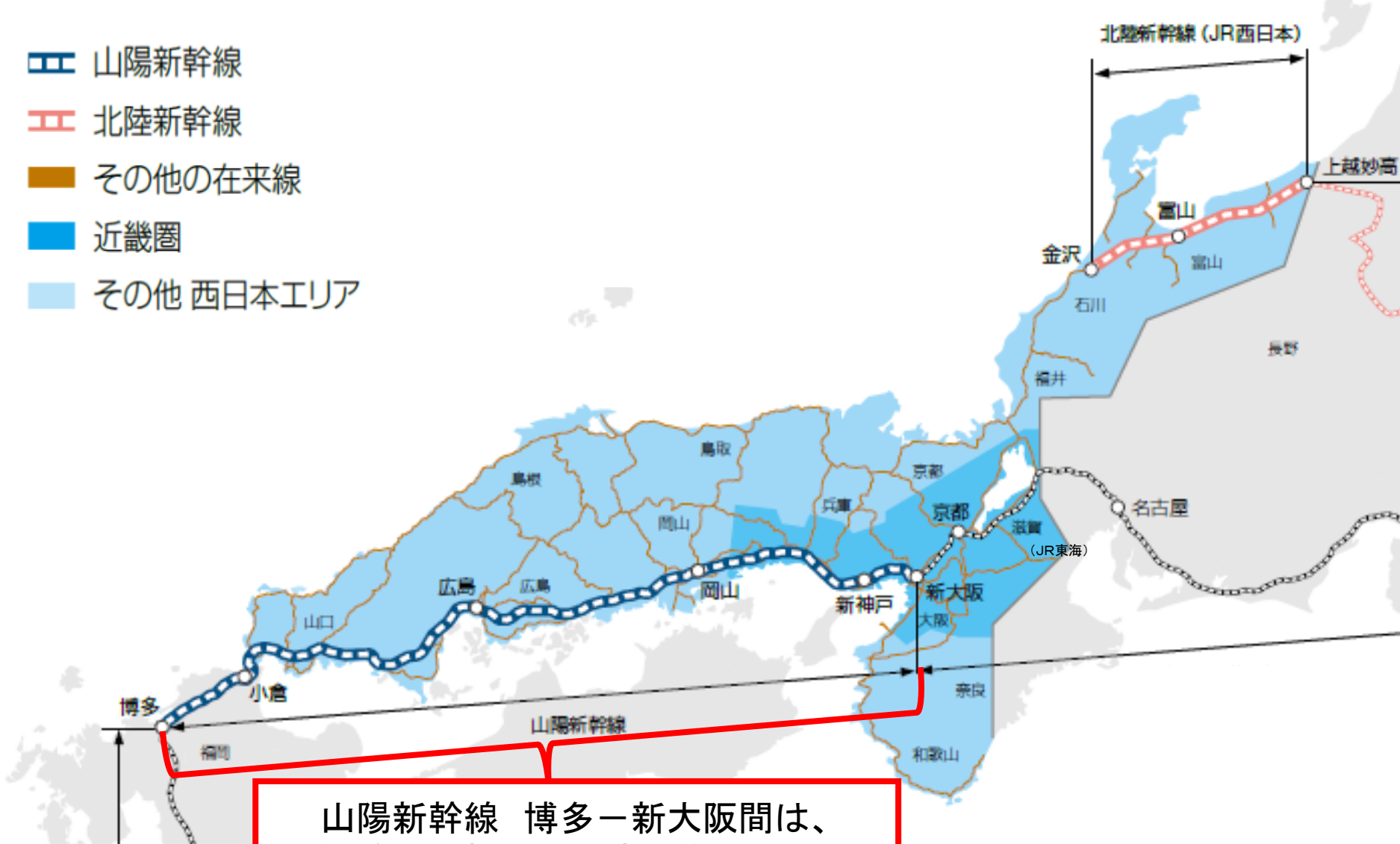
- JR西日本グループ会社でご利用いただける **グループ優待割引券**

- ・宿泊割引: JR西日本ホテルズ (ホテルグランヴィア等)、ヴィアイン (ビジネスホテル)
- ・買物割引: ジェイアール京都伊勢丹等
- ・飲食割引: JR西日本ホテルズ、ジェイアール京都伊勢丹等
- ・旅行割引: 日本旅行



# 8. 鉄道優待割引券の適用範囲(営業エリア)

-  山陽新幹線
-  北陸新幹線
-  その他の在来線
-  近畿圏
-  その他 西日本エリア



山陽新幹線 博多－新大阪間は、  
鉄道優待割引券の適用範囲です。



次の一歩へ。  
地域と共に。

I. 経営概況

II. 株主還元・優待制度

III. JR西日本グループ  
の各事業の取り組み

# 9. 運輸業：新幹線

## 今後の取り組み

### 山陽新幹線(競争力の向上)

#### ○ 安全性・快適性向上

- ・ 新型車両N700A:4編成追加投入(2017.3期)
- ・ 携帯電話不感地対策:全線完了(2016.12完了)
- ・ ATCシステム全面更新(2017.2完了)

### 山陽新幹線(観光需要の喚起)

#### ○ 観光キャンペーン展開

- ・ 山陽・九州新幹線相互直通5周年キャンペーン
- ・ 九州観光復興キャンペーン(7~12月)への参画を通じた、九州活性化への貢献
- ・ 春。鹿児島キャンペーン(1~3月)

#### ○ 観光素材開発

- ・ せとうち広域周遊ルートの定着化  
(7~9月に「せとうちキャンペーン」を実施)

#### ○ シニア向け会員組織「おとなび」会員拡大

#### ○ 訪日観光客需要の獲得

### 北陸新幹線(観光需要の喚起)



#### ○ 北陸～東京の相互流動拡大

- ・ 航空機との競争力強化(ビジネスユーザー等)
- ・ 地域と連携した観光需要拡大(シニア、インバウンド等)
- ・ 新製車両W7系導入(2014年度10編成、2015年度1編成)

#### ○ 関西～北陸～信越の相互流動拡大

- ・ サンダーバードの輸送品質向上
- ・ 地域の更なる魅力発掘・商品化・発信
- ・ 関西から新たな市場となる新潟・長野方面の観光の魅力発信

#### ○ 北陸エリアでの事業創造と地域共生の推進

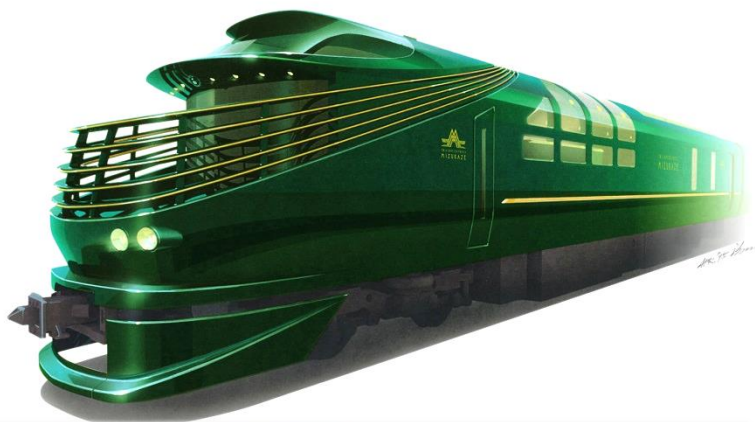
- ・ 商業施設の開業効果最大化
- ・ 地域の名産品等を掘り起こし、地域の魅力発信

# 10. 運輸業：地域と連携した取り組み

## 地域と一体となった観光振興の推進

### ○「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」を契機とした地域観光活性化

- ・ 2017年6月17日 運行開始
- ・ 地域の皆様とともに沿線の魅力を引き出し、立ち寄り観光とともに、沿線でのおもてなし、沿線の魅力を発信するイベントをご用意



大阪・京都、下関を始発駅とし、山陽本線経由または山陰本線経由で、1泊2日(片道タイプ)と2泊3日(周遊タイプ)をご用意

## 京都・梅小路エリアの活性化

### ○「京都鉄道博物館」開業

- ・ 「地域と歩む鉄道文化拠点」として、2016.4.29 グランドオープン
- ・ 都市型観光の目玉のひとつとして、広域から幅広いお客様の集客の取り組み

### ○新駅 [仮称:JR七条] 設置(2019春予定)



# 11. 運輸業：近畿圏

## 線区価値向上

### ○ 住みたくなる沿線づくり ★：大阪環状線改造プロジェクト

- ・ 新駅設置：JR総持寺、衣摺（2018春予定）
- ・ 新車投入
- ・ 駅改良推進

### ○ 鉄道ネットワークの充実

- ・ おおさか東線北区間（2019春予定）
- ・ うめきた整備に伴う地下新駅（2023春予定）

## 都市型観光推進

### ○ 沿線観光施設等と連携したご利用拡大

- ・ USJ 15周年に伴う共同PR実施

### ○ 京都鉄道博物館の開業効果最大化

- ・ JR七条新駅設置（2019春予定）によるアクセス向上
- ・ 梅小路地区と連携したエリアの更なる賑わい創出

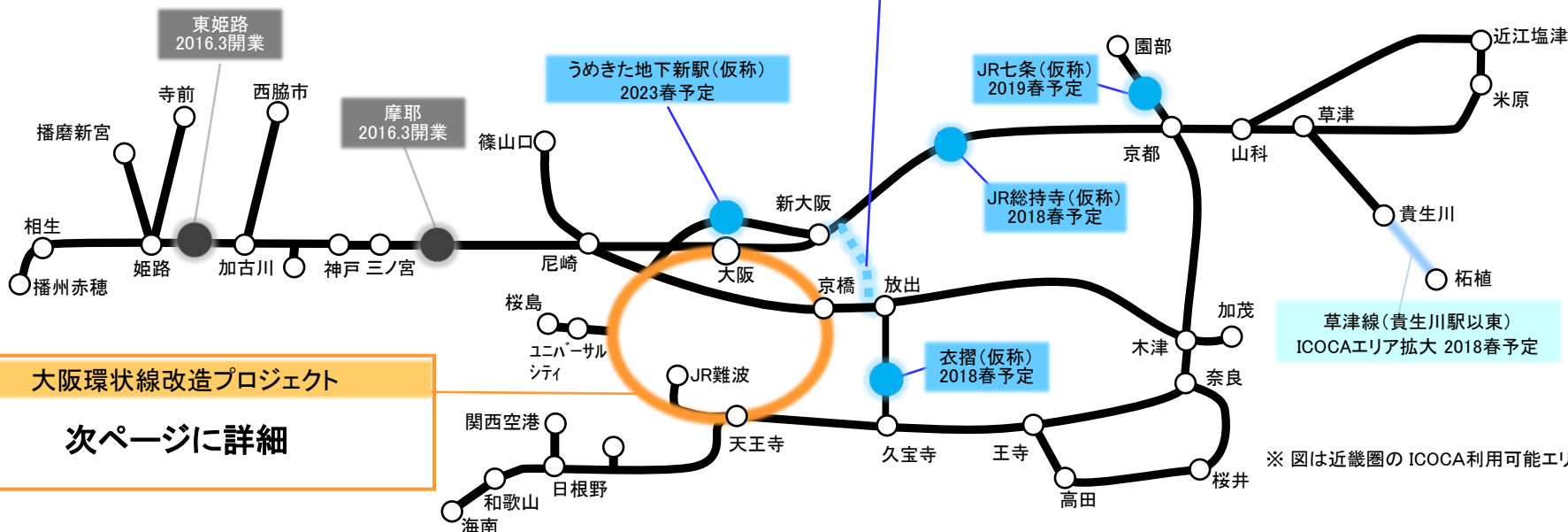
### おおさか東線プロジェクト

#### 【概要】

2008年 南区間（放出～久宝寺間）開業  
2019年春 北区間（新大阪～放出間）開業予定

#### 【目的】

大阪東部地域の鉄道ネットワークの充実



大阪環状線改造プロジェクト

次ページに詳細

草津線（貴生川駅以東）ICOCAエリア拡大 2018春予定

※ 図は近畿圏のICOCA利用可能エリア

# 12. 運輸業：近畿圏

## 大阪環状線改造プロジェクト

### 大阪環状線改造プロジェクト

- ・新型車両投入  
2019.3期までに168両
- ・駅美装、駅・トイレ改良、  
店舗リニューアル推進等



森ノ宮駅リニューアル



森ノ宮駅コンコース改良



大阪環状線 新型車両323系



沿線各駅のトイレ改良

新大阪



桃谷駅リニューアル



桃谷駅 高架下商業施設リニューアル

天王寺



沿線各駅へインフォメーションボードを設置



# 13. 運輸業：安全性向上に向けた取り組み①

## ホームの安全対策

### ホーム柵

お客様のホームからの転落や列車との接触を防ぐために、ホーム柵の開発、整備を進めています。



可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵



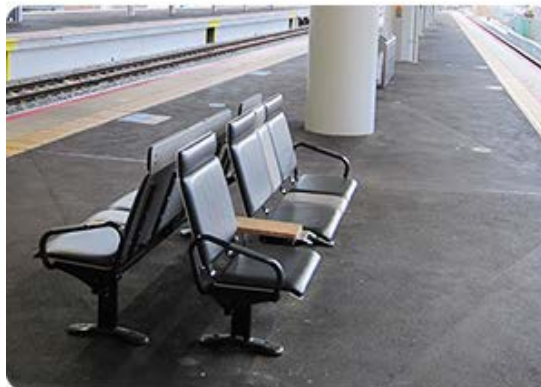
「乗降10万人以上の駅」である14駅と「ホームからの転落事象や列車との接触事故の多い駅」に順次整備

### ホームベンチ設置方法の工夫

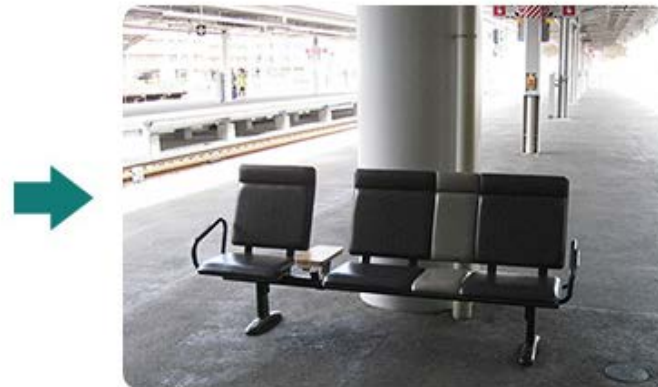
ベンチをホームに対して直角になるように配置



ホーム転落イメージ



取り組み前



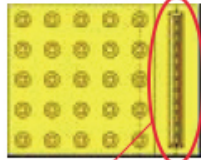
取り組み後

# 14. 運輸業：安全性向上に向けた取り組み②

## ホームの安全対策

### 内方線付き点状ブロック

ホーム内側に線状突起を設けて、ホームの安全側をお知らせする点状ブロックの整備を進めています。



内方線

### CP(Color Psychology)ライン

ホーム端部を赤色で塗装して、視認性を向上させています。

### 転落検知マット

センサーによって転落したことを検知して、乗務員や駅係員に異常を知らせます。



### スレッドライン

赤色灯の点滅により、列車が接近していることを知らせます。

内方線付き点状ブロックは整備計画を3年前倒しし、平成29年度末までに乗降1万人以上の駅に整備

## 安全意識の向上

効果的な教育を目的とした「安全体感棟」の整備



鉄道の安全を守る仕組みの学習

消防・警察等と連携した「列車事故総合訓練」の実施



運転士死身体感  
建築・車両限界体感



## 踏切の安全対策

### 全方位型踏切警報灯

360度全ての方向から確認できる警報灯の整備を進めています。



### 踏切非常ボタン

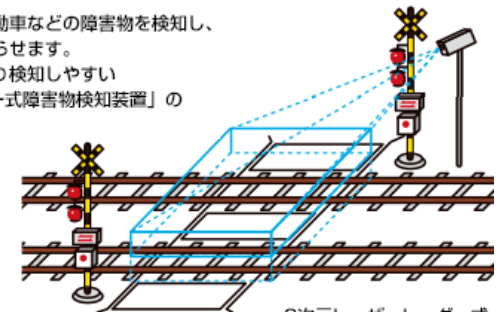
### 折れにくい遮断棒

折れずにもとの状態に戻りやすい遮断棒の整備を進めています。



### 障害物検知装置

踏切内に取り残された自動車などの障害物を検知し、列車の運転士に異常を知らせます。  
従来の光電式に加え、より検知しやすい「3次元レーザーレーダー式障害物検知装置」の整備も進めています。



3次元レーザーレーダー式  
障害物検知装置のイメージ

## 今後の取り組み

### 物販・飲食(キヨスク・コンビニ)

#### ○ セブン-イレブン提携店舗への転換推進

- ・ 転換前と比較した売上は約4割増と好調に推移



北陸3県最大の売場面積(約260㎡)の提携店舗  
「セブン-イレブン ハートイン JR金沢駅店」(7月11日開業)

#### 【計画概要】

5年間で約500店舗(新規出店含む)

#### 【進捗状況】

2016年12月末 累計312店舗完了(新規出店含む)

#### 【今後の予定】

〔既存店舗〕 転換を加速し、今年度概ね完了予定  
〔新規出店〕 来年度以降も継続して拡大  
⇒ 約500店舗を目指す

### SC(ショッピングセンター)

#### ○ 強みのある事業の市中への積極展開

- ・ 吹田市の社宅跡地にSC(「吹田グリーンプレイス」)を開発(2016.4月開業)



吹田市 社宅跡地 SC(「吹田グリーンプレイス」)

#### ○ 商業施設のオープン、リニューアル

- ・ ビエラ塚口(2016.4月開業)
- ・ ビエラ桃谷(2016.8月開業)
- ・ ビエラ大津(2016.10月開業)
- ・ ピオレ姫路の大規模リニューアル(2016.8月～)
- ・ 新大阪駅SC「アルデ」グランドオープン(2017春予定)

## 今後の取り組み

### 不動産賃貸

#### ○ 駅及び社宅跡地の開発推進

- ・ 大津駅リニューアル「ピエラ大津」(2016.10開業)
- ・ 金沢市社宅跡地 健康増進複合施設(2017.4予定)



#### ○ 沿線外・エリア外への積極展開

- ・ 名古屋名駅南ホテル  
開発(2017秋予定)
- ・ 広島八丁堀NKビル  
開発(2017冬予定)



### 不動産販売

#### ○ 住宅分譲事業の推進

- ・ 新規分譲予定物件(2016年度以降)

マンション名	所在地	引渡時期	総戸数
グレースシアシティ川崎大師河原※	神奈川県川崎市	2016年6月	558戸
ブランズシティ天神橋筋六丁目※	大阪府大阪市	2017年3月	420戸
プラウドシティ塚口マークフォレスト※	兵庫県尼崎市	2017年3月	587戸
京都桂川つむぎの街ブライトスクエア※	京都府京都市	2017年3月	404戸
J.GRAN THE HONOR 下鴨糺の杜	京都府京都市	2017年6月	99戸
ジェイグラン甲子園口レジデンス※	兵庫県西宮市	2017年8月	16戸
イニシアブラン住之江公園※	大阪府大阪市	2017年9月	160戸

※他社との共同事業

引渡時期は予定、総戸数はシェア勘案前



○ 不動産賃貸・販売業の今後の中長期的な成長に向けて、菱重プロパティーズ(株)の株式を取得

## 今後の取り組み

### お客様の幅広いご利用ニーズに対応したホテルの展開

#### ○ グランヴィア等(シティホテル)【2,331室】



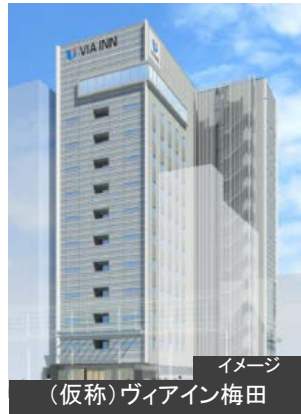
#### ○ ハイクラス宿泊特化型ホテル【約830室<sup>予定</sup>】



大阪(2018年春)  
京都(2019年春)  
に出店予定

#### ○ ヴィアイン(宿泊特化型ホテル)【約5,763室】

新規出店 6店(1,491室)⇒累計23店  
天王寺、梅田、新大阪南口、名古屋椿町、  
飯田橋、京都八条口



#### ○ コンパクトホテル【客室数 未定】



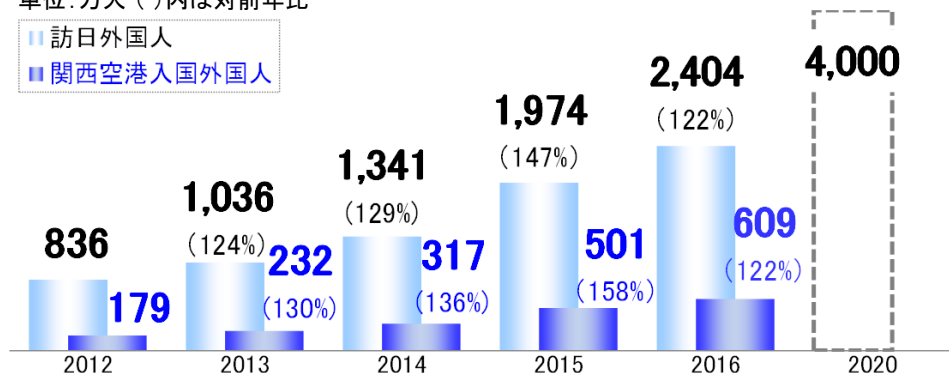
キャビンスタイルの簡易宿所を展開する合併会社、  
(株)JR西日本ファーストキャビンを設立(平成29年2月1日)

# 18. 訪日観光客需要の獲得

## 訪日外国人数、関西空港入外国人数推移 (暦年)

単位: 万人 ( )内は対前年比

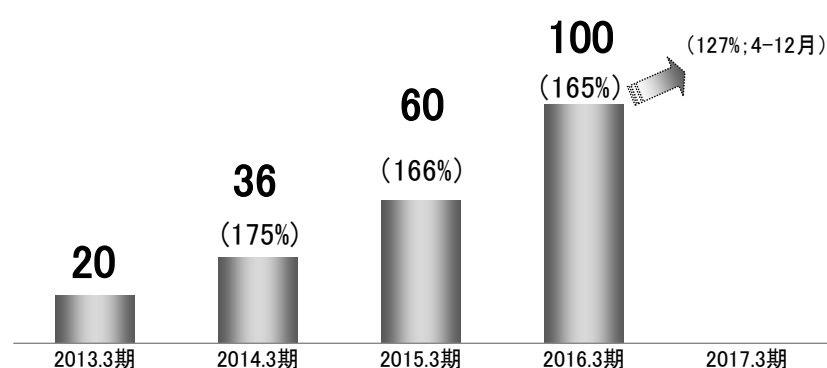
■ 訪日外国人  
■ 関西空港入外国人数



[出典] 日本政府観光局(JNTO)、法務省入国管理局

## 訪日観光客ご利用者数(※)推移 (年度)

単位: 万人 ( )内は対前年比



### 12月末累計実績

- ① 訪日観光客ご利用者数(※) 92万人 (対前年+19万人)
- ② 連結営業収益 +14億円 (対前年)

### 2017.3期目標

- ① 訪日観光客ご利用者数(※) 125万人 (対前年+25万人)
- ② 連結営業収益 +25億円 (対前年)

### 今後の取り組み

#### 「西日本各エリア」への誘客拡大、「JR西日本グループ」の利用拡大

##### ○ 広域観光ルートの開発・整備

- ・「大阪・東京『北陸アーチパス』」、「瀬戸内エリアパス」等発売
- ・ 関西アクセスの充実: 特急「はるか」増発 等

##### ○ ターミナル駅・商業施設等の受入態勢充実等

- ・ 大阪駅に「トラベルサービスセンター大阪」開設(2017.3予定)
- ・ 関西空港駅の販売機能の強化(2017.3予定)

##### ○ プロモーション強化

- ・ 現地事務所(上海、シンガポール)を活用したターゲットの拡大 等

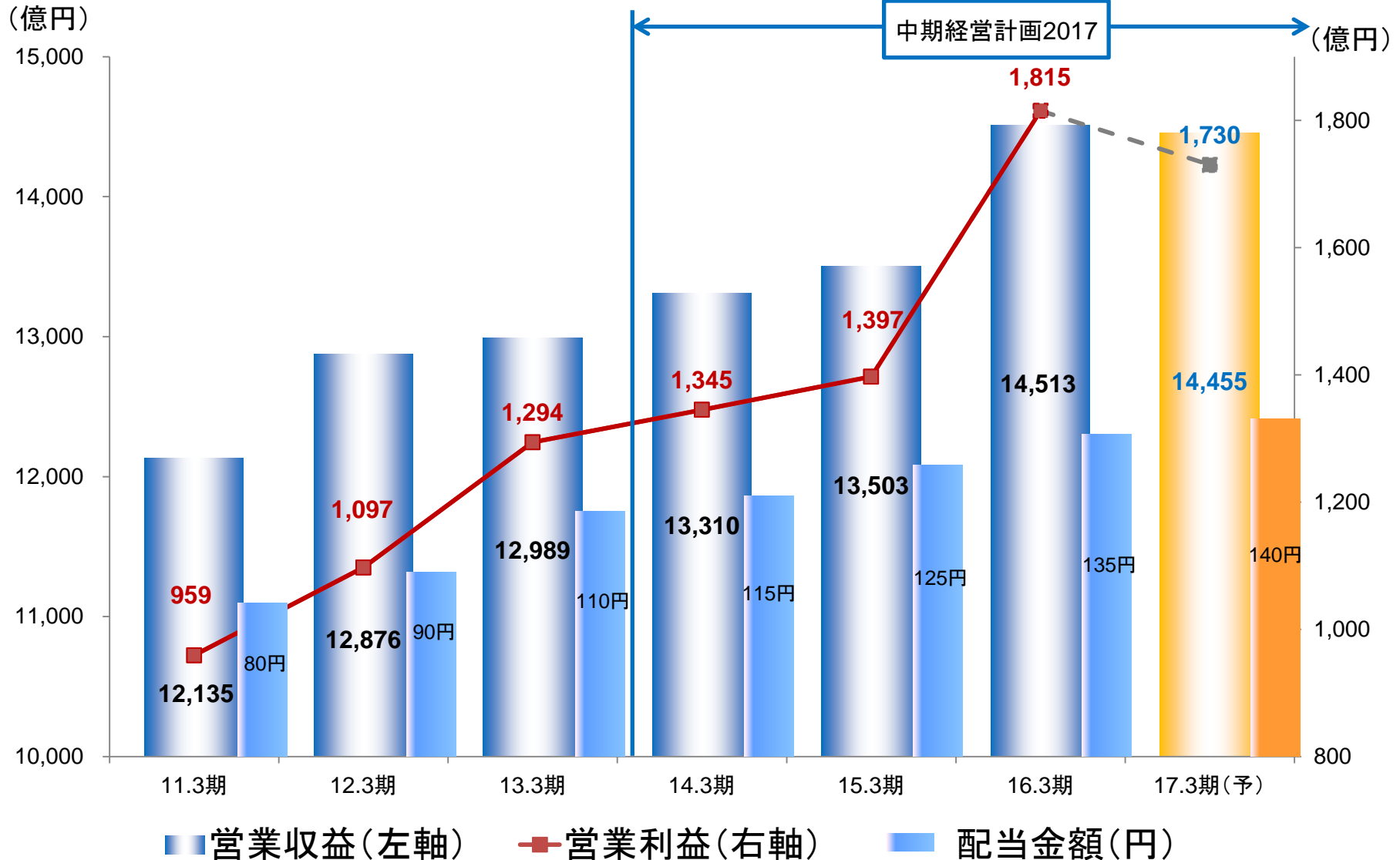


訪日観光客向け商品拡充、西日本エリアへのご利用拡大

(※) 訪日観光客ご利用者数: インバウンド専用商品ご利用者数(当社エリア内での販売、引き換え分)

# 21. 連結営業収益・利益・配当の推移

過去6期の連結営業収益、営業利益の推移と今期の予定



# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2017年2月28日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2017年2月28日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。